

「里帰り」に熱い拍手

大阪堺まつりですずめ踊り

大阪府堺市で十五、十六日に、仙台すずめ踊りが登六日に開かれた堺まつり会場、まつりを盛り上げた。



堺まつりを盛り上げた仙台すずめ踊り―堺市庁舎前広場

仙台すずめ踊りは堺の石工が踊ったのが始まりとされ、すずめ踊りの「里帰り」に、堺市民や観光客から盛んな拍手が送られた。

一行は、仙台すずめ踊り連盟が豪華した総勢八十五人。十六日は午前中、舞台や商店街の通りで踊りを披露し、堺市庁舎前広場のステージでの踊りには、見物客が大勢詰め掛けた。午後からはメーヌストリートのパレード

に参加、沿道を沸かせた。仙台・青葉まつり協賛会の渡辺敬一実行委員長は「十五日夜の歓迎会や交流会でも踊りを披露した。堺にも、すずめ踊りのグループができ、来年五月の青葉まつりに参加してもらおう方向で話を進めている」と交流促進に期待していた。

すずめ踊りは、一六〇三年、仙名城完成を祝う宴席で、石垣を造った泉州・堺の石工が伊達政宗公の前で即興で踊ったのが起源とされている。二年前、「みちのくYOSAKOIまつり」で、堺市のグループが来仙。すずめ踊りとのつながりを

知り、踊りを習いに何度か仙台を訪れ、交流が始まった。

堺市は来年四月、政令市に昇格するため、仙台との交流を深めたいと、まつりに招待した。